



アナトミカルランドマークに基づく 無歯顎印象採得の手順

もくじ

1. 無歯顎用既製トレー
2. 診断用模型の印象採得
3. 診断用模型の作製と診査
4. 診断用模型の調整
5. 個人トレーの作製
6. 個人トレーの調整
7. 最終印象採得

引用文献





1. 無歯顎用既製トレー

無歯顎用既製トレー(Perfect-STOX)の
上顎9種類下顎11種類のうち患者さんの
顎堤に適合するトレーを選択し、診断用模
型の印象採得を行います。



上顎9種類



下顎11種類



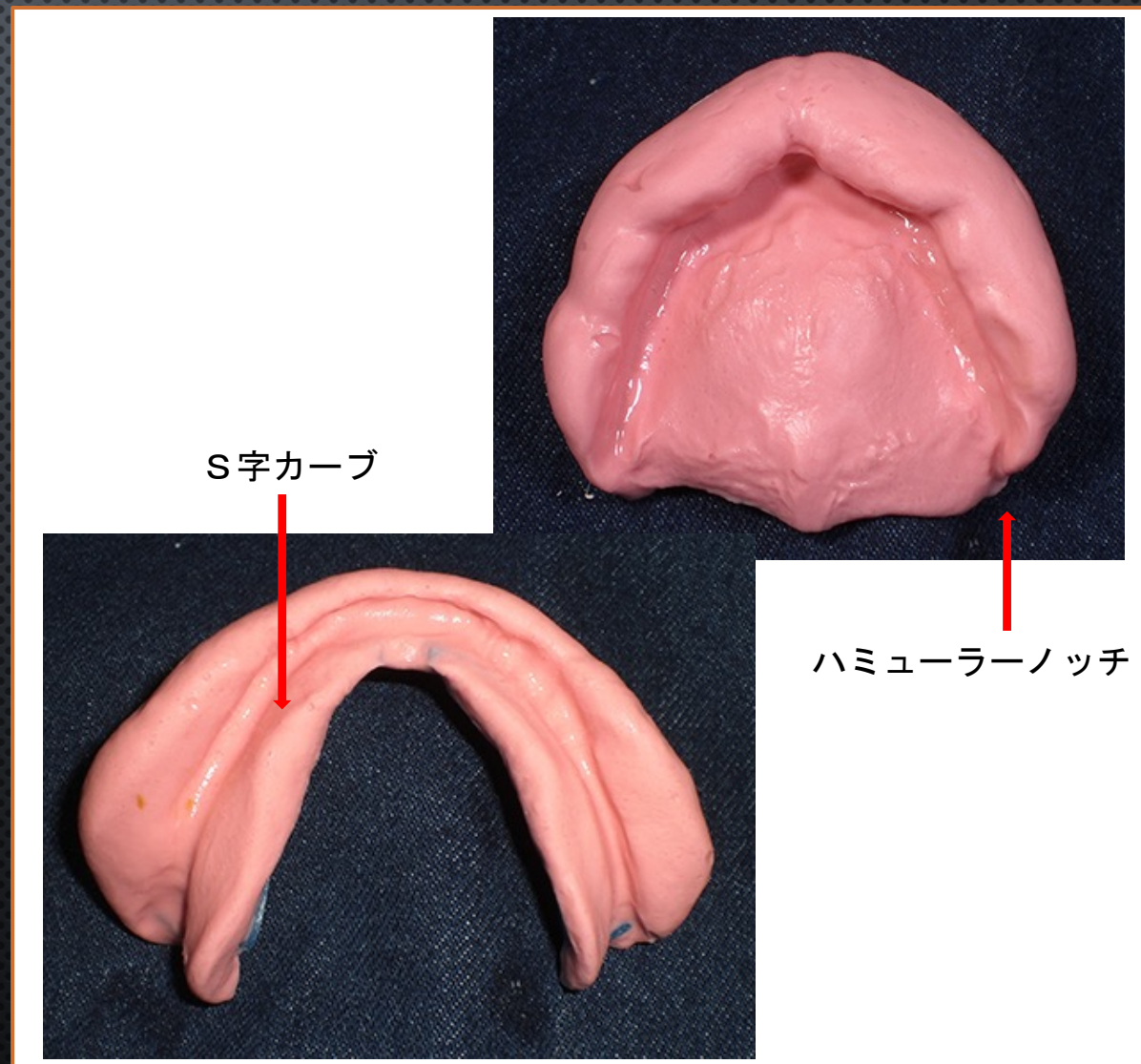


2. 診断用模型の印象採得

印象採得後、無歯顎印象採得面のアトミカルランドマークをチェックします。もっとも重要なチェック項目は、以下の通りです。

上顎：ハミューラーノッチ

下顎：S字カーブ



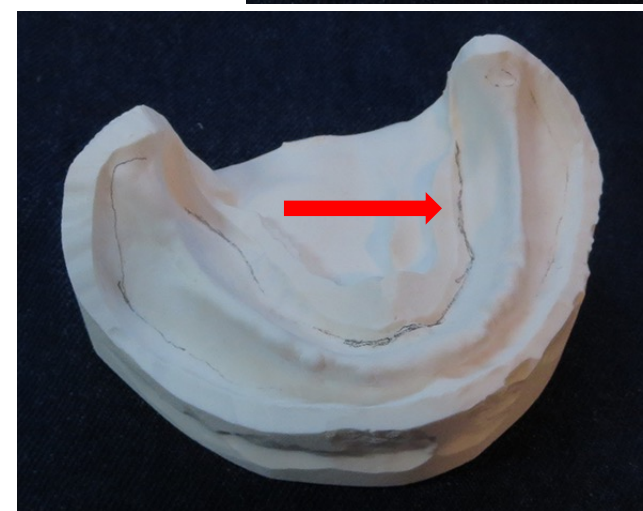
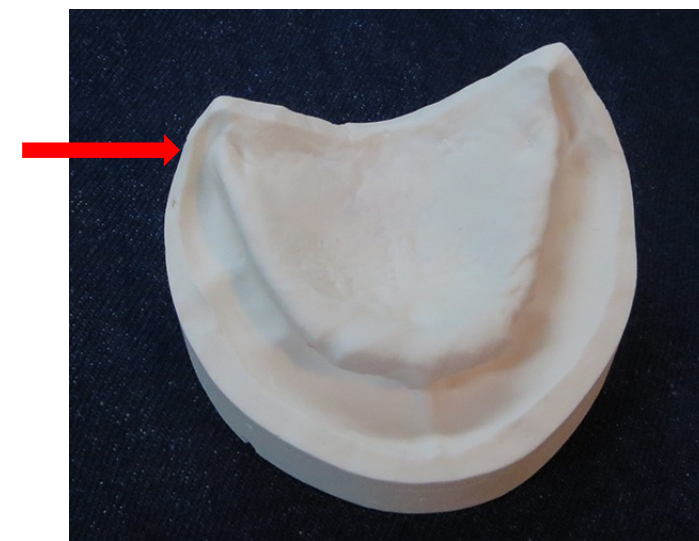


3. 診断用模型の作製と診査

診断用模型のアトミカルランドマークを診査します。

上顎の左上ハミューラーノッチの頬側部が狭く、トレー辺縁部のサポート不足です。個人トレーの辺縁部を調整する必要があります。

下顎左側前顎舌骨筋窩と後顎舌骨筋窩の間のカーブが乱れていることから、印象採得時における顎舌骨筋の収縮が不十分と考えられます。個人トレー辺縁部を調整し、さらに、最終印象に際して、患者さんに舌をまっすぐ前方に出すように指示する必要があります。





4. 診断用模型の調整

個人トレーを作製するために、アンダーカット部とプレッシャーポイント部をワックスにてブロックアウトします。

アンダーカット



プレッシャーポイント





5. 個人トレーの作製

個人トレーは、即時重合レジンにて作製されます。





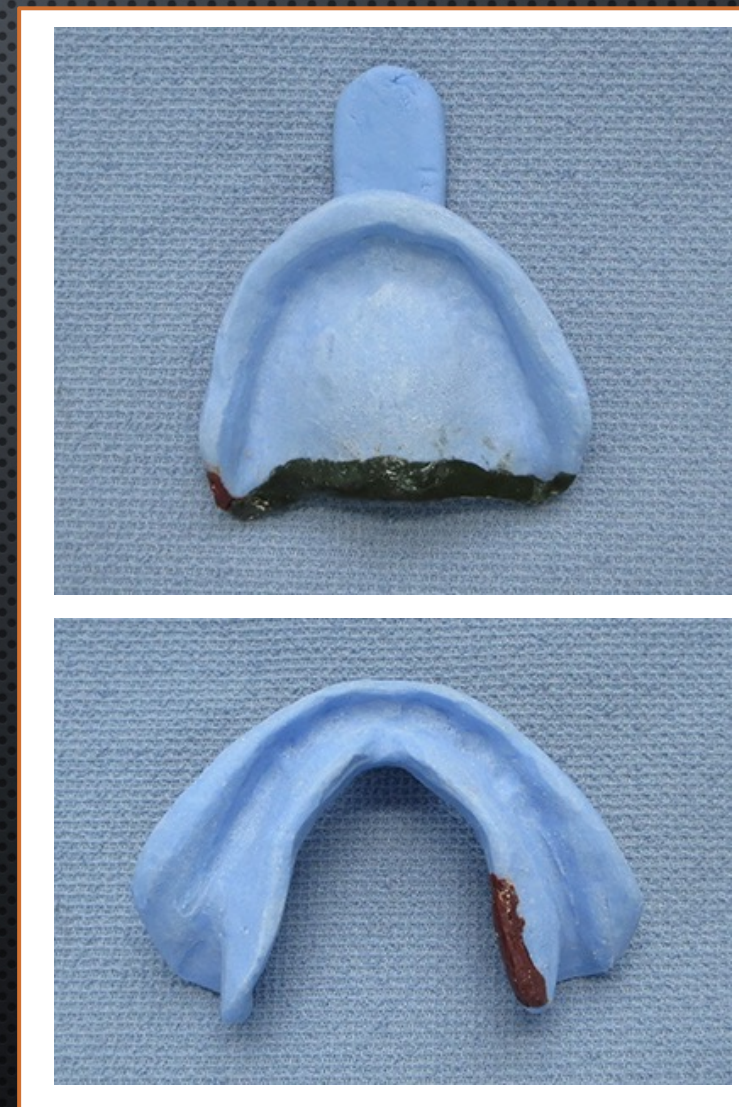
6. 個人トレーの調整

上顎の個人トレー（右上写真）

頬筋のサポートが不足した左上ハミューラーノッチ頬側部および加圧印象採得が必要とされる後縁封鎖部は、モデリングコンパウンドを追加します。

下顎の個人トレー（右下写真）

下顎の左側前顎舌骨筋窩と後顎舌骨筋窩の間は、プレッシャー部分を削合し、モデリングコンパウンドを追加して適切な形態に調整します。





7. 最終印象採得

右写真は、上下顎の最終印象採得面です。
この症例は顎堤の吸収が著しいことから、通常よりも辺縁部の厚みが大きくなりました。
下顎の歯槽頂部にプレッシャーポイントが認められます。義歯装着時に調整が必要となる可能性があります。



【歯科開業医の談話室 追加1】



アナトミカルランドマークに基づく 無歯顎印象採得の手順

引用文献

- 1) Boucher, C.O., Hickey, J.C. and Zarb, G.A. :Prosthodontic treatment for edentulous patients 7th ed., 107~157, C. V. Mosby Company, Saint Louis, 1975.
- 2) 外川正:無歯顎顎堤模型の解剖学的ランドマーク間の計測, 日本補綴歯科学会雑誌 51巻3号 469-479, 1993.
- 3) 外川 正:改良型日本人用試作無歯顎用トレーの評価, 平成16年度日本補綴歯科学会東北・北海道支部総会ならびに学術大会:15, 2004.
- 4) 外川 正:無歯顎顎堤計測値の統計分析に基づく無歯顎用試作トレーの評価, 日本補綴歯科学会雑誌 51巻116回特別号平成19年5月 国際補綴歯科学会神戸2007:131, 2007.

今回の記事を気に入っていただければ👍をクリックしてください。
質問あるいは疑問がある方は、下の公開コメント欄にお書き下さい。
よろしければチャンネル登録をお願いいたします。

その他の著書

